

2025年度 第3回 佐鳴台小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年9月9日（火） 14時30分から16時30分
2 開催場所 佐鳴台小学校 会議室
3 出席委員 野嶋 京登、本間 健太、大西真理子、橋本 博行、辻 博康、羽広 雄太、
4 欠席委員 嶋津 歌絵、山下さおり
5 オブザーバー 諏訪部高央（佐鳴台協働センター）
6 学校支援コーディネーター 結城 真澄、待井 香世
7 学 校 古橋 智一（教頭）、森本 智子（主幹）
鈴木 史恵（CS担当教職員）、朝倉 君江（CSディレクター）
8 傍聴者 なし
9 会議録作成者 CSディレクター 朝倉 君江
10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から羽広委員を推举する旨の発言があり、全員議論なくこれを承認した。

11 協議事項

（1）本年度の重点「つながる力」について

12 会議記録

司会の鈴木から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）本年度の重点「つながる力」について

議長の指示により、前回の協議会で挙がった意見を整理していきたい旨について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・「公園」というワードが協議会でも教員でも共通して出ているが、公園を知らない我々が公園について話し合いは難しい。（羽広委員）
- ・前回のワークショップと教員によるワークショップの結果、校長先生が目指すものは何かを示してほしい。（野嶋委員）
- ・「地域」の定義を佐鳴台から広げても良いのか。（羽広委員）
- ・今自分の『居場所』が大好きになるような心を育てていきたい。（大西委員）
- ・学校中心のものについてまとめてから進めていくのが良いのではないか。（本間委員）
- ・教員からも多種多様のことがあがっているが、この中から何に力を入れたいとの意見がでているのか知りたい。（大西委員）
- ・「学校」「家庭」「地域」の枠で区切られているので難しい。枠がなくなることが「つながる」ではないか。（大西委員）
- ・ワークショップの結果をカテゴライズして、何に重点をおくのかを校長先生に決めてもらい、それについて話し合いを進めたい。（本間委員）
- ・学校として、全員が大きな声で挨拶できるようになることが目標なのであれば、それに対して意

見を出し合って熟議を深めていくのが本来ではないか。（羽広委員）

- ・挨拶ひとつでもどこでどのような挨拶をするのが良いか明確になるのが良いのではないか。学校としての挨拶の定義を示すべきではないか。（大西委員）
- ・目上の人だから挨拶をする、挨拶をする私は正解です、みたいな日本の挨拶は軍隊主義の挨拶だと思う。世界の挨拶は目上など関係なく、知らない人でも気軽にするもの。日本の文化の挨拶と世界の挨拶とものすごく価値感が違うから多文化共生の佐鳴台としての挨拶を定義してあげると、佐鳴台の文化としての挨拶ができるのではないか。（辻委員）
- ・「おはようございます」と元気よく言わると気持ちが良い。（橋本委員）
- ・「挨拶ができる」ことは、そんなに大切か？挨拶ができない人の背景を考えられる方が大事に思う。（羽広委員）
- ・海外の挨拶は、相手の調子を伺うためのものであると思う。（羽広委員）
- ・学校が本当に「挨拶ができる子」にしたいのかを知りたい。それよりもっと他に重点をおきたいと思っているのかもしれない。（大西委員）
- ・学校から具体的な課題とか取り組みたいことを示してもらい、肉付けしていくような議論をしたい。（野嶋委員）
- ・今年度、学校でこれをやりましたというものを出していただき、それを聞いて協議会ならばこういう視点もあったかなと意見を出し合い、すり合わせながら熟議をしたい。（野嶋委員）
- ・1学期、2学期にどのような実践をしてつながる力につけてきたかを聞きたい。ここで話し合ったことが具体的にどうやっているのかを知りたい。（大西委員）

その他報告事項等

- ・教師の行った「つながる力」のワークショップについて
- ・図書館ボランティア（読み聞かせ）について
- ・さなレンジャーPEACE（夏休み中、親子で水やりと草とり）について
- ・次回は、令和7年12月10日（水）に開催予定